

みんなの広場

市民図書館へ絵本を寄贈

心豊かな子どもたちの成長を願って

サロン・ド・マツナガの松永一広さん（山代町久原）が、市民図書館に絵本を20冊寄贈しました。これまでも市内保育園や小学校に毎年絵本を寄贈していて、市民図書館へは今回で143冊になります。松永さんは、「絵本を読むことは大人も子どもも心を豊かにし、親子の絆や人間関係を育むことへもつながると信じている」と話しました。



↑ 鴻上哲也館長（左）から「絵本が、子どもたちを力づけてくれることは間違いない」と感謝を述べられる松永さん

子ども図書館員任命式

たくさんの本に囲まれて

4月30日は、昭和25年4月30日に図書館法が公布されたことを記念して『図書館記念日』と制定されています。これにちなみ、伊万里保育園の園児が『子ども図書館員』に任命され、図書館業務の体験をしました。園児同士で、それぞれ選んだ絵本のバーコードを読み取って貸し出し業務を行い、少し緊張した表情を浮かべながらも楽しんでいました。



↑ 貸し出し体験では、きちんとお礼も伝えていました

こいのぼり掲揚式

「健やかな成長を」願い込めて

児童福祉週間（子どもの日から1週間）の実施に先駆けて、脇野保育園で、『こいのぼり掲揚式』を開催しました。深浦弘信市長が、『青空へ 元気にはばたけ 脇野の園児』と書かれた色紙と『こいのぼり壁飾り』を園へ贈呈し、園児たちから市長へは手作りの『兜』が贈られました。園児たちは、手作りの兜をかぶり元気な踊りも披露しました。



↑ 掲揚したこいのぼりの前で記念撮影

NPO法人2団体と伊万里海上保安署が合同でパトロール 伊万里湾内の安全を守るために

釣りを楽しむ人が増える時期を前に、NPO法人伊万里湾小型船安全協会とNPO法人日本青パイ隊、伊万里海上保安署が合同で、プレジャーボートや水上バイク、巡視艇で湾内をパトロールしました。出発式で伊万里湾小型船安全協会の金子義弘理事長は、「湾内では事故が無いよう海のレジャーを楽しんでもらいたい」と話しました。



↑ 湾内の安全確保と海難事故防止のためパトロールを実施